

令和7年度 第1回堺市東区政策会議 議事要旨

開催日時 令和7年5月29日（木） 午後1時30分から午後3時20分まで

開催場所 東区役所2階 203会議室

出席 池崎守、梅井良雄*、河合涼子*、川上浩、北井道子、小谷勝則*、小西貢、
構成員等 城岡キヌ子、高落俊次、高木悠里、辻有理、西川孝弘*、林聡子、福田崇子*、
福永浩子*、正木幸彦、松島亮次、村上美佐子*、森本昌子*、山本公三*、
山本美奈子、渡士晶子 （以上22名）（50音順）
（*；第3期構成員 堺市東区政策会議開催要綱第7条に基づく関係者として出席）

事務局職員 東区役所 立花区長、近藤副区長、水谷東保健福祉総合センター所長、
新田企画総務課長、船津自治推進課長
企画総務課 友兼課長補佐、井上企画係長、植田、酒井

傍聴 傍聴人なし

次第 1 開会
2 議題
(1)堺市東区政策会議（第2期）の取組について
(2)次期東区基本計画の策定について
3 閉会

配付資料 資料1 令和7年度第1回堺市東区政策会議 座席表
資料2 堺市東区政策会議（第2期）の取組

【会議内容概要】

1 開会

区長の挨拶に続き、本会議が第2期最後の会議であること、また第3期において新たに構成員に就任される9名全員が出席していることから出席者の紹介を行った。なお、構成員5名の欠席についても紹介した。

2 議題

(1)堺市東区政策会議（第2期）の取組について

資料2に基づき、第2期東区政策会議の活動の振り返りについて説明した。

【各発言要旨】

- （座）東区のまちづくりの基本となるこの会議開催についてご挨拶申し上げる。

この政策会議の過去2年度では、それぞれ議論を経た東区ふれあい文化祭での発信として書道

家の金沢翔子氏の登壇、棟方志功氏の孫であり棟方志功研究の第一人者の石井頼子氏による棟方志功作品展示など文化の発信事業を行った。また東区かるたの制作・活用によって東区の歴史を次世代につなぐ事業も実績としている。この政策会議は行政と地域住民が協働して実践行動しようという視点で進めているので、皆さんには忌憚のないご発言をお願いする。

- （座）第2期の活動実績について、堺市東区区民アンケートの報告があったが、区民の皆さんがまちづくりについて一番望んでいる活動として、安全・安心（防災、防犯）のまちづくりが80%以上あった。住み続けていただけるようなまちづくりが大切。
- 安心とはどのように捉えたらいいのか。災害に遭遇しないことだけが安心ではないと思っていて、肩の力が抜けられるような生活ができる街かなとも思う。気軽に隣とあいさつができ災害が起こっても助け合えるまちがいい。小学生のみんなとあいさつを交わす、声掛けから始めれば不審者も寄らないし安心につながる。「こどもまん中地域」を作っていきたい。また、水辺についても大切にしたいと考えていて、地域のため池の環境整備も進めたい。
- 現行のわがまちビジョンと次に策定する基本計画について、PDCA サイクルで検証した時にどうなるのかなと思った。検証ということを民間事業では数値的な目標設定や数値結果で検証しているが、数値がすべてではない。また計画というどうしても総花的になりがちで大項目・中項目・小項目と設計するが、項目の優先順位をつけることを意識して計画を立ててもよいのでは。次の計画をどう検討するのかはこれからと思うが共通認識を持つのが良いのでは。
- （座）東区のまちづくりの政策策定のスタートは、区民が政策立案に参加する東区区民会議（平成20年から）で始まった東区まちづくりビジョン（平成23年度～令和2年度）で、この時から区民の声を念頭に進めてきた。その後、区民評議会が関わって現行の東区みんなで育むわがまちビジョン（令和3年度～令和7年度）を策定した。この東区政策会議は令和3年度から活動しているが、それぞれの策定や事業実施については、区民の声を聴きながら行政が策定し、事業実施にあたっては区民からは意見要望をしながら自ら実践行動して進めてきた。わくわく散策マップは、成果の一つ。このような経緯を鑑みても今のご提案は大切な視点。
- 数値目標を決めるということは大事なことだが、達成するために何ができるか、可能かということを考えないといけない。満足度でしか計れないことがあるからアンケートを実施するが、満足度を上げることの困難さも承知している。直に達成しないといけない事業項目とモニタリングしながら次に何をしようかなと考える事業項目の両方があると考えている。言い換えると、満足度は見ておくだけで達成しなくともよしとする考え方もある。人の考え方も変化することから数値は確認しながら反省し、次につなげることが大切なのではないか。
- 次期基本計画を進めるにあたって、資料の骨子（案）左下のグラフは上段に記載している「様々な魅力・課題」の今を示しているのか、それともグラフの横に記載している「住みよい魅力のあるまちにしていくなため」に重要な項目を示しているのかわかりにくい。80%の区民は安全・安心なまちであることが必要だということなのか記載方法を工夫する必要がある。

次に、現状90%できている項目を更に100%に近づけることは無理ではないかと考える。低い項目に注力するほうが数字は増える。ほぼ評価された安全・安心をまだ伸ばすというのは数

値での表現ではなく日々の活動努力。まちとして足らずを伸ばす方が活性化するのではないか。

「ともにまもる安全・安心」の「福祉」に記載されている「社会参加の機会」と、「お困りごとを抱えた方」に関する校区事業として「寄り道広場」という事業を5月に始めた。人集めに苦労すると思っていたが始めてみると初見の方が多かった。何か活動すると人は集まる。

- （座）安全・安心は基盤であり、そのうえで東区は教育、文化について伸ばしていこうとしている。そのために歴史を発掘し、文化を発信していこうとしてこの政策会議を進めてきた。

また、東区の防災・防犯についても気軽に区民が参加できるような工夫をお願いされているのでこの政策会議でもうまく取り入れることができればと思っている。

- 夏休みに書道を実施してふれあい文化祭で展示していただいた。活動費についてもこの会議で位置づけされ区役所から使用物品を提供していただいた。今年度もこの会議で継続するのか、それとも校区行事として実施するのか。準備時期も迫っている中、こどもたちが集まってくれるなら行事の中で防犯や防災のことについても啓発したい。

- （座）継続こそ力なりと常々思っているので継続していきたい。課題が見えたら改善していけばよい。皆さんいかがか。

【全員、了承】

- この会議では第1期から東区の歴史・文化の発掘発信をテーマに進めてきた。安心・安全、またこどもたちの教育に資する活動をしているが、個人的には東区の学校教育に携わる先生方だけでなく地域こぞって子供たちの成長を応援していると思っているので、先ほどのグラフの項目にもある子育て、教育については引き続き高めていきたい。

- （座）協働して活動することで人のつながりが大きな力となり課題解決につながるので、地域の皆さんを巻き込みながら大きな力となって成果を積み上げていきたい。地域の課題を見つけたら、ソフト面では人の力が決るので行政と一緒に頑張って解決に向かって結集したい。

- 東区のまちづくりの課題をハード面で見ると、内水災害への対応（公共事業）がまだまだではないか。また、市街化調整区域から市街化区域に変更されると農業用水としてのため池の存在意義はどうなるのか、こどもたちの安全・安心の観点からハード面を見た時の都市計画道路の完成時期はどうなのか、まちづくりについてハード面で気になることはある。

- （座）事業認可を取った都市計画事業は速やかに実行してほしい。安全安心に向けた防犯カメラの設置については整備が進んでいる。まちづくりについては地域それぞれの状況があり、また住民の間でも事業を進めるにあたってプラスマイナスの意見がある。この地に長く住んでいると気づかないところがあるので新たに住まわれた方々にお聞きすると、「まちなみが落ち着いている、住み続けたい。」と仰る方が多い。

- 住んでいる自治会の加入率が9割だが、毎年世帯が減ってきている。高齢化が進んで今後も減り続けるかと思うが、引き続き住み続けたいとの思いで現在、こどもファーストで活動している。夏には夜店を開いたり、こどもを大切に育てているという意味を込めて大きなこいのぼりを泳がせたりして、地域こぞってこどもファースト、子育て応援をしている。

また先程、東区の教育レベルは高いという趣旨の発言があったが、それぞれ各家庭の子育て

の力（愛情、想い）の強さの結果が学校教育に反映している。自治会活動についても世帯数が減っていく中、年度、年度に工夫して役員それぞれの活動負担を軽減しつつ、みんなで楽しもうという気持ちで活動しながら住み続けたいと思える地域にしていきたい。

- 所属自治会でも少子化が進んでいるが元気な高齢者が多い。老人会やふれあい喫茶では80歳代の方々も進んで参加している。家に籠るのではなく一歩でも外に出る活動をしている。

- 区民まつりの時に東区かるた体験会に参加しようと思っていたのに参加できず残念に思っていた。本日、事務局から報告と東区かるたの配布があり感謝申し上げる。

先ほど教育レベルが高いとの発言があったので体験談を紹介。下り坂で小学生の男の子が自転車で突然こけた。追いついて声をかけたら「大丈夫です」と答えたので「気を付けてね」と言ってそのまま歩いた。すると先ほどの男の子が後ろから自転車が走ってきて「さっきは心配してくれてありがとうございました。」と大きな声であいさつしてくれた。声掛けだけの見ず知らずの大人にきちんとお礼が言えるこどもに感激した。東区の学校、いい教育をされている。

- ふれあい喫茶を毎土曜日に開催している。先週来ていた方が今週来ていないと皆でどうしたんだろうと心配するなど、皆でお互いを思い合っている。また2、3か月に1回、お茶体験（茶と和菓子）を催していて、こどもたちも参加してもらえたらと思う。

皆さんにもお越しいただいて、運営など意見交換できればより良い場の創出ができる。

- 今回初めてメンバーとなる小学生の子をもつ親だが、こどもの安全が気になるところ。

地域の道路も狭いところが多く、またボールを使える遊び場も少ないのでこども目線で過ごしやすい地域であってほしい。

- 他市に転居したが、転居先では小学校の校庭を開放していて夕刻までこどもたちがたくさん遊んでいる。こどもたちが多いということは保護者もたくさん住まわれているので昔の風景を思い出した。東区に住んでいた時に遊び場が欲しいと思っていたので、道路・公園など安全はもちろんだが安心して活動できれば東区はもっと良くなる。

- 北野田にある文化会館をもっと気軽に使えるようにしてほしい。

- 校区の高齢化が進んでおり現役員も担当役が多いので、できるだけ多くの方に引き受けてもらえるようにしている。小中学生のこどもをお持ちの父親方は引き受けていただきつつあるがなかなか難しい状況。

- （座）本日の会議ではこれまでも振り返り次の計画への足掛かりとして時間を使わせていただいた。次期基本計画策定については、次回会議からスタートするということご理解いただきたい。また、計画策定では高木氏の研究室の所属学生も参加していただきたいが皆さんいかがか。事務局についてもこのように進めたいがいかがか。

【全員、了承】

3 閉会